

児童発達支援評価表(事業所内)

記入日 年 月 日

施設名 **心愛**・心愛つう

記入者名

		該当に○印を記入ください			
		チェック項目		改善目標、工夫している点など	
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		・今後増える予定もあり、ギリギリだと考える。
	2	職員の配置数は適切か	7		面談等で減ることもあり、大変なこともあるがうまく回るように考えている。
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	・視覚障害を持つ利用者には、安全面で配慮が必要。 (段差や水道場など) ・壁につくしたり、マグネットを使用したりと工夫している。 ・毎日の清掃は、必ず行っている。 ・アルコールや塩素で除菌している。 ・唾液や鼻水などで汚れやすく、床をなめる利用者もいるため毎日清掃して清潔を保っている。 ・活動に合わせてドアを開けて広々と使ったりしている。
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また子供たちの活動に合わせた空間となっているか	7		・定期的な話し合える環境づくりがされている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向を把握し業務改善につなげているか	7		・一年に一度事業所評価を保護者へ依頼し、評価をもとに改善目標を立てお知らせしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		・一年に一度事業所評価をしている。職員一人一人が事業所及び自己を見直す良い機会になっている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	・定期的に監査がある。
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		・全体での研修、または外部研修への参加。 ・各事業所で行い確保している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	7		・1~2ヶ月に1度作成し、評価と目標を帆が者へ説明確認している。 ・担当職員だけでなく他の職員とも相談して計画されている。
	11	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	・事業所毎に子どもの発達に応じた原本シートを利用している。 ・アセスメントツールを使用して、チェックしている。
	12	児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』『発達支援(本人支援及び移行支援)』『家族支援』『地域支援』で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	7		面談で家庭との連携を計れるように努力している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	・特に担当の児童に対しては目標に沿った支援をして、
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	・適切な活動内容の立案をいつも人に頼ってしまっている、考えていきたい。 ・ミーティングで1週間の活動内容を決め、当日利用者の状況に応じて再検討している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・1つの内容においても毎日少しずつ違うなど工夫されている。 活動内容は少しずつ変化されていて、子どもたちのスキルが定着するように組まれている。
	16	子供の状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	7		・子どもの実態を見て集団活動を中心に行っているが、今後実態に合わせた個別活動も検討している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・朝のミーティングで確認している。
	18	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	6	1	・打ち合わせはしていないが、その日の活動時や子供共の様子などの話を職員間で頻繁にしている。 ・情報共有することで、次の支援につなげることができている。 ・利用者の変化や過程からの情報は毎日必ず共有し
	19	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・その日の様子を具体的に記録している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		子どもの実態を見に来てくれた職員にも話を聞いてモニタリングができています。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		各事業所の代表者が話し合っている。	
22	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	その子に応じて連携している。	
23	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	・就学に関して教育委員会と連携を図っている。 ・受診に同行し、意思の連携を図っている。 ・保育所等訪問、関係連携会議で保育園と情報共有を図っている。 ・磐田市立病院と連携して、話し合いを行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供を支援している場合) 子供の主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	6	1	必要があれば病院同行をし、連絡を取っている。
	25	移行支援として保育所や幼稚園、認定子供園、特別支援学校(幼稚園)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・保育所等訪問、関係連携会議で並行通園先との連携を図っている。 ・保育所等訪問があることによって情報共有ができています。 ・送迎時に担任の先生と話したり、様子をうかがったりしている。
	26	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	・年長児については、就学先の学校と連絡調整や情報共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		・コロナ下の折り、難しい。 ・今後は研修のあり方を考えたい。 ・感染対策の観点より研修の場が減っている。 ・他の児童センターの見学や、体験学習をやってみた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子供たちと活動する機会があるか	7		・コロナウイルスの関係で今年度はやっていない。(リモート研修もやっていない。)
	29	(自立支援)協議会子供部会や地域の子供・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	・感染対策の観点より研修の場が減っている。
	30	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・月1回の個別面談において担当者だけでなく、状況、課題に応じて複数で対応。 ・送迎時に伝え合うことで、別の問題や解決法が見つかる。 ・送迎時に直接伝えたり、難しい場合は電話連絡や手紙を利用して情報共有している。
	31	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	7		・コロナ下の折実施できていないが、必要性は感じている。 ・普段の送迎時に日中の様子や対応の仕方を伝えるようにしている。
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		・契約時に説明を行っている。
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された『児童発達支援計画』を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		・1ヶ月に1度面談の機会を設け、現状と課題、目標を伝えるとともに支援計画の説明と確認をしている。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・個々に対応している。 ・面談時に対応している。
	35	父母会の活動を支援したり保護者会を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	7		・コロナ禍の折実施できていないが、保護者会のあり方も考えたい。 ・コロナのため保護者会は開けていない。 ・再開できるようになったら行っていきたい。
	36	子供や保護者からの申し入れについて対応体制を整備するとともに子供や保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合迅速かつ適切に対応しているか	7		・対応しているが、通じ合っていないことがあるので、わかりやすい話し方やポイントをとらえた話し方をするなど自分自身改善していく必要がある。 ・即答できないときは事業所に持ち帰り、相談をして連絡している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	7		・心愛だよりや心愛通信を発行して、情報を発信している。 ・心愛だよりで写真を多く載せ様子が伝わるようにしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		・十分注意をしている。
	39	障害のある子供や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7		・付き1回の面談や送迎時に子どもの様子や家庭の様子を聞いたり、伝え合うようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	7		・コロナ禍のもと計画できなかった。 今後どうあるべきか考えていきたい。 ・コロナ対策で今年度は行っていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		・コロナ下のものと計画できなかった。 今後どうあるべきか考えていきたい。 ・コロナ対策で今年度は行っていない。 ・具体的な想定をすることで訓練の質が上がる。 ・保健委員会を行い職員に周知している。 ・1年に2~3回保健だよりを発行している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行っているか	7		・災害の怖さを伝え、訓練が行われている。 ・定期的に火事、地震、津波を想定して避難訓練を行っている。
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認しているか	7		・保護者からの聞き取り等で確認している。 ・契約時に確認するほか、毎月の面談で受診、検査、処方の内容を確認しています。 ・てんかん発作は、日々記録してファイリングしている。
	44	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	5	・保護者から提出があった場合、対応していくようにする。 ・対象者がいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		・何かあった場合、隠さず全員で情報を共有し対策を立てている。 ・ヒヤリハットの報告書は、その都度改善点を職員間で話し合っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	・職員間の意思疎通を図ること、日頃から話し合える環境作り。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分説明し理解を得たうえで児童発達支援計画に記載しているか	6	1	